

第56回『都市問題』公開講座

「景観まちづくり」の 過去・現在・未来

日時 2024年7月20日(土) 13:00～16:00 (開場 12:30)

場所 日本プレスセンター 10階ホール 東京都千代田区内幸町2-2-1

北海道から沖縄まで日本各地には魅力的な景観があふれている。それぞれの地域では、住民の努力、行政による規制や誘導、民間企業の協力など、公・共・私がさまざまな役割を担いながら、その土地ならではの景観を守り、育てている。景観は生活者の身近に存在し、それを継承していくことは、地域への愛着にもつながる。2024年は景観法制定から20年で、景観まちづくりの大きな節目の年でもあるが、この20年間で、日本は人口減少社会に突入し、魅力的な景観を育ててきた地域を取り巻く状況も大きく変化している。景観まちづくりの現状を住民・行政・民間企業の役割に着目しながら整理するとともに、生活者にとって魅力的な景観まちづくりのあり方について考えたい。

出演 ●基調講演●

(敬称略) 赤羽 祐哉 (八王子市 拠点整備部 市街地整備課)

小島 富佐江 (京町家再生研究会 理事)

福島 秀哉 (株式会社 上條・福島都市設計事務所 共同主宰)

●パネルディスカッション●

<司会> 西村 幸夫 (國學院大學観光まちづくり学部長)

<パネリスト> 赤羽 祐哉 / 小島 富佐江 / 福島 秀哉

参加申込

後藤・安田記念東京都市研究所ホームページ (<https://www.timr.or.jp>) よりお申込みください。

・申込期限：2024年7月18日(木)※満席となり次第受付終了

・参加費：無料

主催・問合先

公益財団法人 後藤・安田記念東京都市研究所

TEL：03-3591-1201 FAX：03-3591-1209

●出演者プロフィール●

赤羽 祐哉

八王子市 拠点整備部 市街地整備課

1990年東京都八王子市出身。首都大学東京(現東京都立大学)都市環境学部建築都市コース(現建築学科)卒、同大学院修士課程修了。修士(工学)。2016年から、まちなみ整備部まちなみ景観課に所属し、景観計画運用をはじめ、八王子景観100選選定、景観絵本「八王子まちなみ 景観みらいものがたり」作成、景観絵本実現アクション支援、八王子中町まちづくり協議会支援等の業務に携わる。2024年4月より現所属。

福島 秀哉

株式会社 上條・福島都市設計事務所 共同主宰

1981年生まれ。博士(工学)。九州大学大学院比較社会文化研究院学術研究者。小野寺康都市設計事務所、(独)土木研究所寒地土木研究所、東京大学大学院工学系研究科助教などを経て現職。専門は景観工学・土木デザイン。全国の地域再生に向けた都市デザインの研究と実践に取り組んでいる。主な著書に『まちを再生する公共デザイン』『土木デザインひと・まち・自然をつなぐ仕事』『ムラナカ』の公共デザイン』など。

小島 富佐江

京町家再生研究会 理事

明治中期に建てられた京町家に暮らす。

京町家を建築的な対象としてとらえるだけでなく、そこに培われてきた暮らしを検証し、「町家と暮らし」の継承をテーマに活動している。

西村 幸夫

國學院大學観光まちづくり学部長

1952年福岡市生まれ。明治大学助手、東京大学助教授、東京大学教授、神戸芸術工科大学教授を経て、2020年より國學院大學教授。専門は都市計画、都市保全計画、都市景観計画。工学博士。『都市保全計画』(東京大学出版会、2004)、『西村幸夫文化・観光論ノート』(鹿島出版会、2018)、『県都物語』(有斐閣、2018)、『都市から学んだ10のこと』(学芸出版社、2019)など。